

パブリックスペース 月見亭 そば祭りイベント

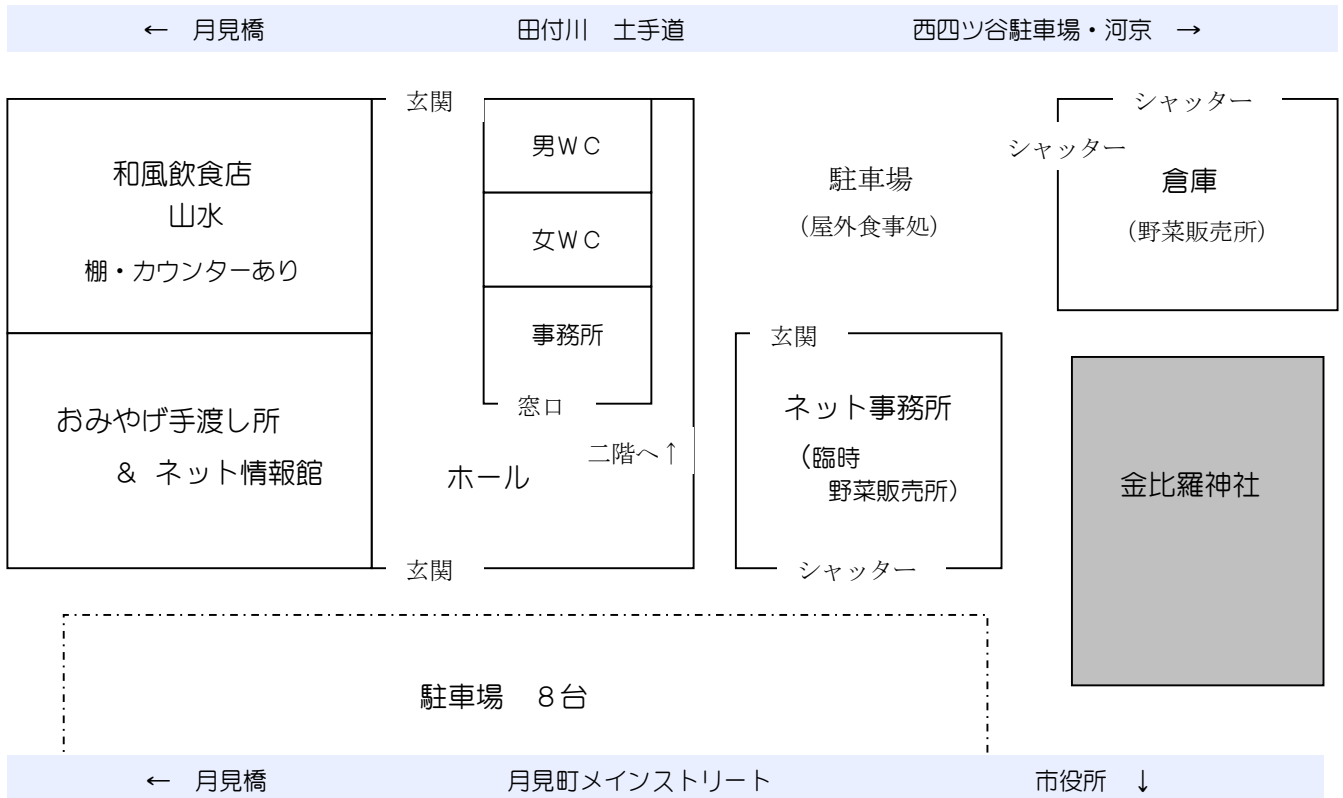
喜多方冬祭りでおこわれた「そば祭り」と「朝市のような農産物販売」の「合体イベント」考えています

「スマホの決済手段」「HP利用のイベント告知」「LINEの連絡手段」を利用して非接触型で実施します

毎日営業にこだわらず、コロナの感染状況見ながら 人件費かけない、イベント営業で開始します

喜多方市内の「農業法人グループ」と相談して、スマホ決済を利用した 市の中心部における「朝市のような農産物販売&地元素材を利用した飲食店」の「新しい生活環境での非接触型商いの可能性」を考えます

月見亭は、田付川河畔にあり 三密のない環境なので コロナ終息後の新しい可能性、みんなで考えます



月見亭では、喜多方の「米や農産物や蕎麦」を「予約による手渡し直売」で スマホの前決済機能を利用します

内部 WIFI なども整備して、将来の「フリースポット広場」的な使用方法へも挑戦したいと考えています

コロナ後の新しい生活の時代は、感染症予防の為に 自家用車で喜多方を訪れる人が増えるはずですから、美味しい「喜多方の農産物・地酒・特産物」などを、非接触型の注文&決済手段で 販売することができると思います
それが、喜多方ラーメンの食べられる 喜多方の中心部でできたら きっと新しい地域活性化になると思います

田付川からの川風を感じながら 換気の良い「月見亭・新丁子屋」で「新そば祭り」実施の可能性考えます
月見亭の「一階 山水」では、喜多方を代表する「地酒」、「二階の雪水」では「農業法人の生そば」を紹介します
会津若松と違った「三密のない喜多方」「若松と裏磐梯の中間点」だから 「新しい食の提案」できると思います
「パブリックスペース 月見亭」は、ワクチン接種の進む「秋頃」、新そば祭りイベント開催に合わせて開業予定です
市営の「西四ツ谷駐車場」を利用して、「まこと」「坂内」「あべ」の御三家「ラーメン店」や 地場産品購入に便利な「河京」「若喜商店」などで 買い物散策してもらおうなどの「市役所」中心とした「中心市街地の活性化」

「5G時代のスマホ利用に向けての ITを利用した 中心市街地からの情報発信」に繋がたいと考えています
御清水や月見町地区には、「日中飯盛山系の、美味しい地下水」があるので それも大きなセールスポイントです